

ほほえみ



Vol.68

副院長就任ご挨拶および地域医療支援病院認定のご報告 副院長 飯田 正人

昨年4月に特任副院長を拝命しました。私は2007年10月から内科と血液・腫瘍内科の診療を担当しておりますが、院内の地域医療連携推進委員会の委員長と患者支援センターの総括センター長を兼務しておりますので、このたび本院が地域医療支援病院の認定を受けた経緯や本院の役割について簡単に説明させていただきます。

■地域医療支援病院とは

川崎病院は、2018年8月29日付で兵庫県知事から県内34病院目の「地域医療支援病院」の承認を受けました。地域医療支援病院とは、地域の病院や診療所（「かかりつけ医」）を後方支援し、病院と診療所の連携を強め地域医療を強化する目的で1997年4月に創設された制度です。

■地域医療支援病院の役割とは

地域医療支援病院は以下の要件を求められています。

- ・病床数が200床以上であること。
- ・紹介患者を中心とした医療の提供をおこなっていること。
⇒本院では、他の医療機関からの紹介率が50%以上、他の医療機関への逆紹介率が70%以上の基準を満たしています。
- ・救急医療を提供する能力を備えていること。
⇒救急科・高度治療室（HCU）を擁し、24時間体制で救急医療を提供しています。
- ・他の医療機関に対し病床や医療機器・設備を提供し共同利用していること。
- ・地域の医療従事者を対象とした教育・研修の機会を提供していること。
⇒各分野のテーマについて、院内・院外の医療従事者を対象とした勉強会や研修会を年間12回以上おこなっています。

本院では急性期の治療が一段落して病状が安定した患者さんについては、原則として地域のかかりつけの先生に逆紹介させていただいて以後、診療所に通院していただきます。ただ疾患や病態の特殊性によっては地域の先生方と本院が協力して治療や経過観察をおこなっていく場合もあります。病診連携は、診療の効率性を追求するのが最終目的ではなく、地域の診療所と病院が質の高い医療を地域の皆様に提供するための手段（ネットワーク）と考えております。

■地域医療支援病院の課題

地域医療支援病院の制度がスタートしてすでに21年が経過し病院と診療所の連携が全国どこでも当たり前となり一定の役割を果たしたともいわれていますが、医師数の多い都市部とそうでない過疎地における地域医療支援病院へのニーズの違いが鮮明になったことや在宅医療を提供する

「かかりつけ医」を後方から支援する在宅医療支援病院と地域医療支援病院の役割の違いについても議論されているところ です。

本院の主な医療圏である兵庫区・長田区は、神戸市のなかでも最も高齢化が進んでいる地域で、本院では高齢者の急性期と回復期の医療を担っていくことが自らの使命と捉えております。診療所の患者さんのほか老健・介護施設からの患者さんを積極的に受け入れ、治療がひと段落した段階で在宅や施設にスムーズに戻るようしてまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

■最後に、小生担当の血液腫瘍内科では、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群、白血病の化学療法（抗がん剤治療）を中心におこなっています。血液疾患においても高齢者や合併症のある患者さんが多いため抗がん剤治療の開始は入院でおこない、治療が軌道にのったら外来化学療法室に通院治療していただいておりますが、各々の患者さんの生活状況や副作用の出現に注意し、きめ細かくアドバイスをしながら患者さんが安心して治療に臨めるよう心がけております。

地域医療支援病院の認定は受けましたが、川崎病院が名実ともに地域医療を支援していくには地域のかかりつけ医の先生方との密接な連携だけでなく、患者さんのご理解とご協力も不可欠です。お気付きの点があれば遠慮なく職員に仰ってください。



病院近くの商店街を通るときいつも新鮮な食材が並べられているのを見て自分もいつかは料理をしてみたいものだと思います。

というのも、私は外科医ですからメスの扱いはお手の物で包丁さばきに通じると自負しています。ただ、残念ながら料理の基本となる味付けの仕方がわからなくて、自作の料理といえば炒め物だけになります。

今認知症の患者さんは65歳以上の人々の5人に1人といわれています。今後ますます増加すると言われていて、その予防法が話題になることが多くなりました。なかでも食事については専門家の間で地中海料理が注目されています。内容

についてはインターネットで見ることができますのでここでは触れませんが、その食事をとることもさることながら、食材をそろえ、調理法を考え、手際よくこしらえていく料理そのものが脳細胞を刺激し、特に新しい料理に挑戦することが良いようです。

近々、ナッツ入り野菜サラダにオリーブオイルのドレッシング、手巻き寿司に赤ワインを少々、自分の手作りでといきたいものです。



新入職医師のご紹介



外科部長

村上 雅一 (むらかみ まさかず)

専門分野：消化器外科(特に下部消化管領域)

趣味：旅行、ドライブ、囲碁、
飼い犬との戯れ、ゴルフ

2019年1月に川崎病院外科に着任しました。主な専門領域は大腸癌手術(特に腹腔鏡手術)と大腸癌の化学療法です。川崎病院に来てよかったと思っただけの医療を提供していきたいと思っています。診療中は難しい顔(?)をすることもありますが、よろしく願いいたします。

川崎病院外来糖尿病教室のお知らせ(平成31年1月~平成31年4月開催)

【糖尿病基本講座(外来糖尿病教室基本コース)】

糖尿病基本講座は、はじめて糖尿病と診断された方とご家族、糖尿病について基本から知りたい方、糖尿病境界型の方を対象にして開催しております(テーマごとに深く知りたい方は【糖尿病実践講座(外来糖尿病教室応用コース)】にご参加下さい)。

目的：糖尿病についての基本的知識の習得

内容：ビデオ鑑賞、糖尿病の講義、栄養の講義

場所：全コースとも西館4階 糖尿病教室

受講料：無料(テキスト代210円のみご負担下さい)

第275回 平成31年1月25日(金) 午後1時30分~4時

第276回 平成31年2月22日(金) 午後1時30分~4時

第277回 平成31年3月29日(金) 午後1時30分~4時

第278回 平成31年4月26日(金) 午後1時30分~4時

【糖尿病実践講座(外来糖尿病教室応用コース)】

糖尿病実践講座では糖尿病について基本的知識のある方とそのご家族を対象に開催しております。

第103回 平成31年1月18日(金)

糖尿病食バイキング103：がん予防に繋がる糖尿病食

山本管理栄養士

講演：がんと糖尿病(座り過ぎるとがんが増える?)

大塚副院長

第104回 平成31年3月8日(金)

糖尿病食バイキング104：骨折を防ぐ糖尿病食

秋田管理栄養士

講演：骨折と糖尿病の関係

大塚副院長

骨折を防ぐ薬

内山薬剤部長

申込方法

基本コース、応用コースともに東館1階の内科外来にてお申し込み下さい。

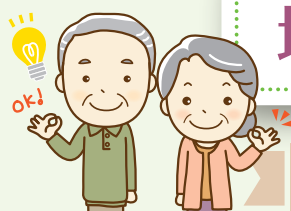
※川崎病院糖尿病教室には川崎病院に通院していない患者さんも参加できます(診察不要)。



くらしの教室 のご案内

くらしの教室とは…「できるだけ長く、自分らしく住み慣れた自宅で生活を継続してもらう」ことを目的として、患者さんやご家族を対象として開催している勉強会です。これからのくらしに備えて、院内の各分野の専門職が講師を務め、医療、介護などの様々な内容について勉強しています。興味のあるテーマがありましたら是非ご参加ください。

	実施年月日	時間	テーマ	講師	場所
第1回	2019年4月18日(木)	10:30 ~ 11:30	「宅配食の利用について」 お総菜を使った簡単アレンジ	秋田管理栄養士	東館5階 第1会議室
第2回	2019年5月16日(木)	10:30 ~ 11:30	「飲み込む力について」 自宅でもできるごえん予防	前田言語聴覚士	東館5階 第1会議室
第3回	2019年6月20日(木)	10:30 ~ 11:30	効果的に筋トレをするための 基礎知識	山下理学療法士	東館5階 第1会議室
第4回	2019年7月18日(木)	10:30 ~ 11:30	糖尿病について	市原医師	東館5階 第1会議室



地域の健康講座でお話しました



9月27日(木) 菊水地域福祉センター

菊水地区では昨年の4月より赴任しました循環器内科の高橋医長が「不整脈を知ろう!」と題したお話をさせていただきました。今回の健康講座では、心臓のつくりや不整脈が起こると心臓の中では何が起きているのかなど、心臓の働きについてわかりやすく説明しました。不整脈は誰にでも起こりうる身近な疾患で、心配しなくてもいい不整脈と心配すべき不整脈に分けられます。万が一、心配すべき不整脈になった場合の治療方法について詳しく説明いたしました。



11月29日(木) 夢野地区地域福祉センター



夢野地区では谷川副院長が「長生きするために、がんについて知っておきたいこと」と題したお話をさせていただきました。癌は2人に1人は罹患するといわれている怖い病気ですが、医学の進歩により決して諦めなくてよい病気になりました。予防や早期発見を心がけることはもちろん大切ですが、仮に進行していても適切な治療を組み合わせることで予後の改善が期待できます。講演では、癌の予防や早期発見、手術を中心とした治療の説明に加えて、ノーベル賞を受賞された本庶佑先生の研究などについても説明させていただきました。

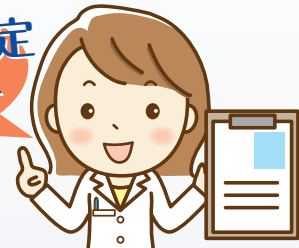
川崎病院では病院外でも様々な講演活動を行っています。

お近くで開催されるときにはお誘い合わせのうえご参加ください。

最後になりましたが、ご参加いただいたみなさまありがとうございました。

人間ドック

新規受診者限定
4,000円分



オプション プレゼント キャンペーン

2019年 1月5日(土)～3月30日(土)

上記の期間限定で、すべての人間ドックに、気になるところの検査4,000円分を無料で追加できる、「オプションプレゼントキャンペーン」を実施します。
多数のオプション検査をご用意していますので、ぜひこの機会にご利用ください。

対象者：当院で初めて人間ドックを個人利用(全額自己負担)で受診される方

上限金額：4,000円税別(追加検査の合計額)

※オプションのみでのご利用はできません。

申込締切：2週間前

申込方法：人間ドック予約時に、合わせてお申込みください。



お申込み
お問合せ

医療法人 川崎病院 健診センター

【電話予約】 **078-511-3621**

【お問い合わせ時間】

平日(月～金) 13:00～17:00
第1・3・5土曜 9:00～12:00

川崎病院医療理念

「良質な医療を提供し、信頼される病院に」

基本方針

1. 地域の人々の疾病の治療と健康の維持に、他の医療機関と連携し貢献します。
2. 患者さんの権利と尊厳を尊重し、病状と治療方針を十分に説明し、理解していただくよう努めます。また、患者さんの個人情報とは決して第三者に漏らすことはありません。
3. 患者さんが心地よく治療に専念できるように患者サービスに努力します。
4. 医療人としての使命感を持ち、より高い知識と技術の習得に努力し、安全で高度な医療を提供します。
5. 働きがいのある職場環境を形成します。

患者様の権利

1. 良質で適切な治療を受ける権利
2. 医療上の情報の説明を受ける権利
3. セカンドオピニオンを受ける権利
4. 人格を尊重され治療を自己決定する権利
5. プライバシーを尊重される権利
6. 尊厳を擁護される権利

すべての患者様が等しく、上記の権利を行使できるように、患者様には病院の規則を守り、他の患者様や職員、その他の人々に迷惑をかけない責務があります。